

鷹取山自然観察会の活動

鷹取山の現状と観察路

鷹取山は横須賀市北部に位置し、昭和42年から湘南鷹取の宅地開発が進み、自然環境は変化したが里山的環境の残る地域である。しかし、年々斜面緑地の減少や里山の管理不足などにより自然環境は悪化している。このままでは、私たちの子供や孫の世代に豊かな自然を残すことはできない。

鷹取山の緑地はできるだけ残してほしいと多くの人が願っている。

鷹取山の植生は三浦半島の北部に位置し海岸に近いこと、地域的に暖温帯に属していることからシイ、カシ、タブノキなど常緑広葉樹の照葉樹林が優先的に広く分布している。

その他、コナラ、クヌギ、イヌシデ、イタヤエデ、オオシマザクラなどの落葉広葉樹も多く見られる。低木ではムラサキシキブ、ガマズミ、マルバウツギ、ツクバネウツギなど普通に見られる。林床にはヤブラン、ジャノヒゲ、ツクバトリカブト、ホタルカズラ、ノコンギク等季節によって花を咲かせている。鷹取山では、野鳥や昆虫などの生き物も多く生息しており季節を通じて自然観察をすることができる場所である。



会の発足と自然観察会の開催

鷹取山自然観察会は平成23年4月から月1度の観察会を行っているグループである。観察を続けていると鷹取山周辺の樹木の伐採や外来種の増加、ランやユリなどの盗掘などによる絶滅が話題となった。そこで参加されている方々に呼びかけをして平成25年4月に観察会、生き物調査、自然保護活動を目的とした会を発足した。

○自然観察会は毎月第二日曜日に開催している。会員以外の方も参加自由である。

○鷹取山周辺の植物、動物などを参加者と一緒に観察している。昨年度は参加者は延べ149人でした。参加費 100円（保険代資料代）、参加者からの感想は好評であった。



樹木板の設置

鷹取山には約180種を超える樹木が自生している。当会では鷹取山公園を中心に平成25年から毎年樹木板を設置している。樹木板は木製でペンキで種名、樹木の特徴、科名を記載してある。

樹木板の設置後、鷹取山で出会った方たちからは「樹木の名前がわかって良かった」という声が多く聞かれた。



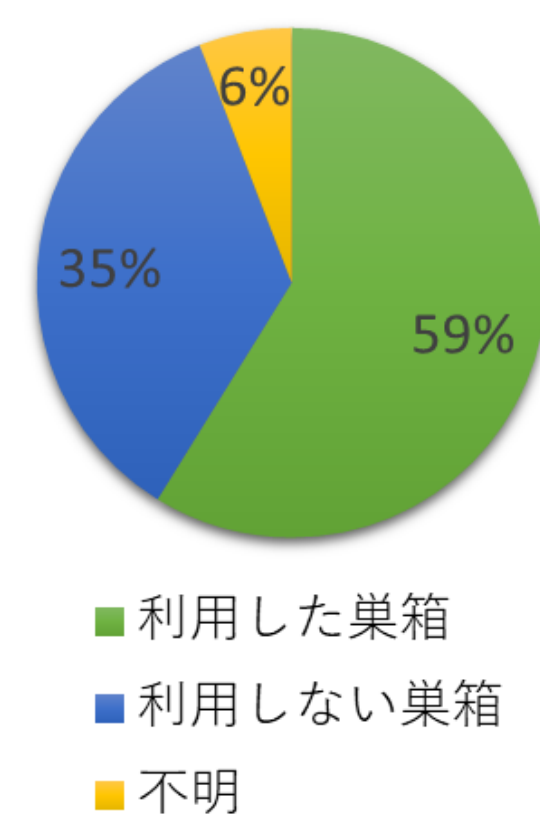
巣箱の設置

シジュウカラ、ヤマガラなどは巣箱をよく利用している。当会では平成25年に8個、平成26年に9個を子ども達とイベントを開催して鷹取山公園にかけてきた。現在17個の巣箱が掛かっている。昨年度は巣箱を掛けずに今までの巣箱の掃除と利用状況を調べ、再度巣箱掛けを行った。

鷹取山北側では8個のうち5個（1個は未確認）が、南側では9個のうち5個が利用されていた。巣箱の利用率は58.8%と高かった。



巣箱の利用状況



自然情報の掲示

環境政策部と協議し、鷹取山公園に平成27年4月に掲示板を設置した。鷹取山の自然情報として毎月ポスター（A2版）により鷹取山で見られる花、蝶、鳥などを紹介している。

- ①鷹取山に咲く花や山で見ら蝶、鳥を紹介
- ②自然観察路及び自然観察会のお知らせ



植物相調査

当会では、鷹取山周辺の植物相の実態を知るため平成25年から毎月1回植物相調査を実施している。調査区間は植生の違う6区間に分けて行っている。平成28年3月に鷹取山がモニタリングサイト1000里地調査に登録され、現在はモニタリングサイト1000里地調査により植物相調査を継続的に行っている。

○平成27年12月までの結果では610種が確認され、木本56科183種、草本57科379種、シダ植物16科48種であった。

○この地域の自然度を草本類の帰化植物の分布割合により把握した。帰化植物と在来種の分布割合は図のとおりで区間により大きな違いがあった。



オカトラノオ



ヤマユリ



リュウノウギク

帰化率調べ



$$\text{帰化率}(\%) = (\text{帰化植物の種数} / \text{出現した全植物の種数}) \times 100$$

蝶類調査

三浦半島は三方を海に囲まれ黒潮の影響を受けるため暖地性の蝶が多く分布している。横須賀市自然・人文博物館によれば三浦半島には84種が記録されてる。

○当会は蝶類調査としてモニタリングサイト1000里地調査により月2回行っている。調査は会員が調査ルートを歩き(時速2キロ)、種を確認の上記載した。

○27年5月～10月まで実施した蝶類調査ではウラナミアカシジミ、オオミドリシジミ、ムラサキシジミ、チャバネセセリ、イチモンジチョウなど6種で35種を記録した。昨年と今年で記録したのは合計41種となった。

○草地にはキタキチョウ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモンなど、樹林内ではコミスジ、アカボシゴマダラ、ヒカゲチョウの仲間、ジャノメチョウの仲間、アゲハの仲間も多く観察された。



鷹取山で見る
ムラサキシジミ



鷹取山で見る
ツマグロヒョウモン



野鳥調査

当会では、鷹取山周辺の野鳥の実態を知るため平成26年12月から開始し、冬から春までの6か月間、毎月1回継続的に行っている。

○鳥類の調査では27年12月～28年5月まで調査を行った。全体とし29種が記録できた。数が多い鳥はヒヨドリ、メジロ、スズメ、ウグイス、シジュウカラ、コゲラの順であり、前年との比較では、アオゲラ、ハクセキレイ、ツバメ、アカハラ、キビタキ、オオタカ、ノスリ、イソヒヨドリなどが観察できた。



鷹取山でよく見るコゲラ



鷹取山でよく見るアオジ



鷹取山自然観察の里山づくり

平成28年度は市民協働推進補助金を頂き「鷹取山自然観察の里山づくり」として事業を行い、鷹取山を自然観察できる里山の環境整備を進め、観察会等を通じて理解を深めていきたい。今年度は季節ごとに変化する自然観察のポイントを解説した「鷹取山の自然観察ガイド」を作成した。

◎自然豊かな森の再生

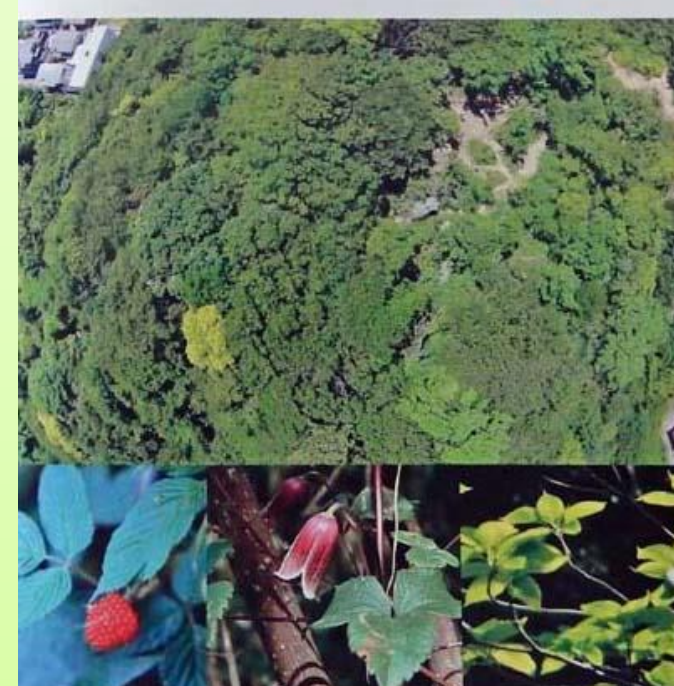
野鳥や昆虫の食草が豊かに育ち、照葉樹と落葉樹が健全に育つ。下草には三浦半島の在来の植物が見られる。

◎いつでも自然観察できる里山

生きものがいつでも観察できる環境の整備が図られている。



鷹取山の自然観察ガイド 春～夏編



会報の発行と広報

○会報は、年4回発行70部印刷し、会員の他、県市の関係機関等に郵送又はメールで送付している。

○鷹取山自然観察会のHPは一部リニューアルした。また、フェイスブックにも登録して多くの人に知ってもらうよう努めている。



会員の募集

◆目的 鷹取山の自然観察を通して身近な自然の大切さを理解することを目的とします。

◆活動内容 ①自然観察会の開催 ②自然保護活動 ③生き物調査 ④会報の発行など

◆会費 1家族年額1000円とします。ただし、観察会の参加費はその都度徴収します。

鷹取山自然観察会では会員を募集しています。趣旨に賛同できる方は仲間に入って下さい。

<連絡先>

鷹取山自然観察会

メール : takatori_0721@nifty.com

HP・FB: 鷹取山自然観察会